

新型コロナウイルス感染症対策に係るNPO等支援のための緊急アンケート調査

報 告 書

2020 年 4 月 18 日

特定非営利活動法人ひろしまNPOセンター

1. 実施概要

目 的	感染症流行による NPO 等への影響を可視化し発信することを通して、お互いの不安や工夫を共有し、必要な対話や連携、支援を生み出す。
対 象 者	広島県内の NPO 法人や市民活動団体、ボランティア団体、地縁組織、地域の課題解決に取り組む組織など（法人格の有無や種類は問わない）
実施方法	○ひろしま NPO センター会員（団体・個人）や広島県内の NPO 法人、各種団体等（約 1,138 件）宛に調査票を郵送。 ○facebook による WEB フォームの広報や調査への協力依頼（リーチ：2,264 件）。 ○回答は WEB フォームまたは FAX にて回収。
期 間	2020 年 3 月 31 日（火）～2020 年 4 月 10 日（金）／11 日間
調査項目	（1）回答者の属性 ※団体名は非公開 （2）組織運営や事業活動に影響がありますか？ （3）組織運営や事業活動にどのような影響がありますか？ （4）貴団体の周りで発生している社会問題や地域課題を教えてください。 （5）組織運営や事業活動でどのような対策や工夫を行っていますか？ （6）その他、今後地域で必要なこと、行政や他団体と連携したいこと、必要なサポート、地域社会へのメッセージ等、ご意見をください。
回 答 数	132 件
備 考	○広島県内の認証 NPO 法人数：825 団体 ＜内訳＞広島県：466 団体（2020 年 3 月 31 日時点） 広島市：359 団体（2020 年 3 月 31 日時点） ○本アンケートによる広島県内の NPO 法人の回答数：91 団体（回収率：11.0%）
実施主体	特定非営利活動法人ひろしま NPO センター 〒730-0018 広島県広島市中区八丁堀 3-1 幟会館 2 階 TEL：082-511-3180 FAX：082-511-3179

2. 考 察

新型コロナウイルス感染症はNPOや地域等に大きな影響を及ぼしている。

その影響について、アンケートから寄せられたデータや意見を、「**団体・法人の経営**」「**事業・活動の運営**」「**地域・住民**」の3つの大きな課題に分類し、そのトピックを抽出して下記の表にまとめた。

区 分	団体・法人の経営	事業・活動の運営	地域・住民
困っていること、 不安・心配なこと	*経営の責任・方針 *収入 *雇用・職場環境 *総会・理事会	*判断・見通し *活動場所 *地域・住民への影響	*子ども *高齢者 *衛生用品・食料品 *判断・情報
必要な サポート・対応	*仕組み *資金 *情報・助言 *衛生用品	*情報・助言 *協力関係 *衛生用品	*情報・助言 *行政の方針 *小規模自治体 *災害への備え
やっていること、 できること	*立て直し・判断 *協力関係	*方針・対応 *注意喚起・予防策 *協力関係	*意識・行動

以上のことから、「**情報**」「**判断・方針**」「**NPOに伴う地域への影響**」に関する問題が深刻となっており、NPOや地域等に対する「**適切な情報提供や助言**」「**支援ニーズへの具体的な対応**」が課題である。そして、課題解決のための「**協力関係**」の促進が重要となる。

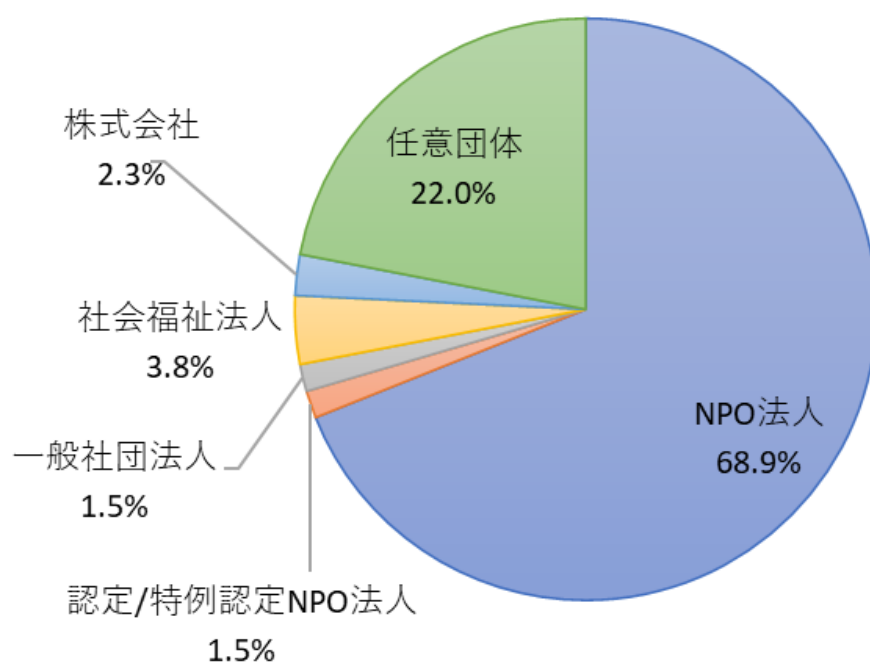
なお、このアンケートで得られた情報は氷山の一角であることから、支援ニーズを把握するための更なる情報収集や課題解決のための緊急的な対応が求められる。

3. アンケート結果

(1) 回答者の属性（法人格）

有効回答数 n= 132

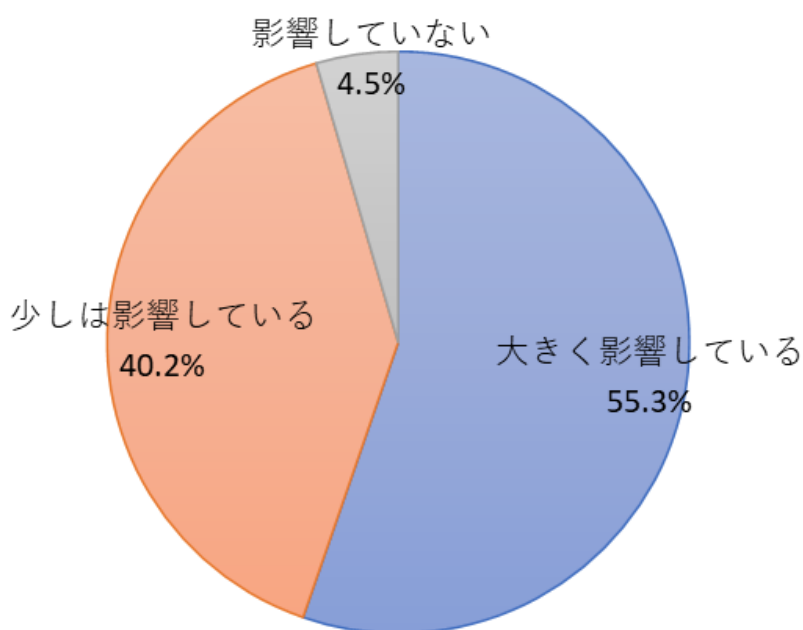
回答	回答数	割合
NPO法人	91	68.9%
認定/特例認定NPO法人	2	1.5%
一般社団法人	2	1.5%
社会福祉法人	5	3.8%
株式会社	3	2.3%
任意団体	29	22.0%



(2) 組織運営や事業活動に影響がありますか？（回答は1つだけ）

有効回答数 n= 132

回答	回答数	割合
大きく影響している	73	55.3%
少しは影響している	53	40.2%
影響していない	6	4.5%

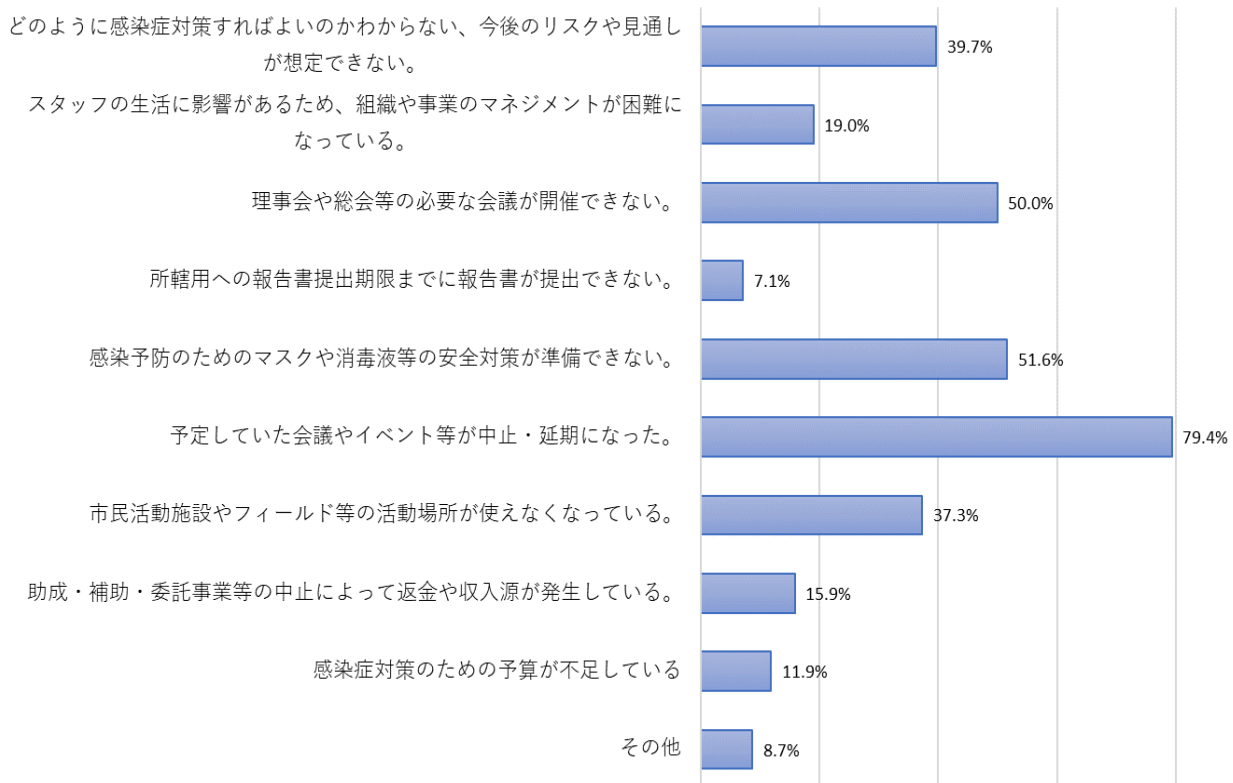


全体の **95.5%**（126 件）から、**組織運営や事業活動に影響がある**との回答が得られた。また、全体の半数となる **55.3%**（73 件）が大きく影響していると回答したことから、**感染症による影響の問題の大きさ**が伺える。

(3) 組織運営や事業活動にどのような影響がありますか？（複数回答可）

有効回答数 n= 126

回答	回答数	割合
どのように感染症対策すればよいのかわからない、今後のリスクや見通しが想定できない。	50	39.7%
スタッフの生活に影響があるため、組織や事業のマネジメントが困難になっている。	24	19.0%
理事会や総会等の必要な会議が開催できない。	63	50.0%
所轄用への報告書提出期限までに報告書が提出できない。	9	7.1%
感染予防のためのマスクや消毒液等の安全対策が準備できない。	65	51.6%
予定していた会議やイベント等が中止・延期になった。	100	79.4%
市民活動施設やフィールド等の活動場所が使えなくなっている。	47	37.3%
助成・補助・委託事業等の中止によって返金や収入源が発生している。	20	15.9%
感染症対策のための予算が不足している	15	11.9%
その他	11	8.7%



最も回答が多かったのは「予定していた会議やイベント等が中止・延期になった」で 79.4%（100 件）となっている。次いで、「感染予防のためのマスクや消毒液等の安全対策が準備できない」が 51.6%（65 件）、「理事会や総会等の必要な会議が開催できない」が 50.0%（63 件）を占め、全体の半数以上の回答者が選択しており、**イベント等の中止・延期による緊急的な対応はできているものの、基本的な予防や感染拡大防止策、組織運営のために必要な会議が開催できない等の問題**を抱えていることが伺える。

その他の回答については、「収入減」「見通しが立たない」に関連する意見が多く寄せられた。

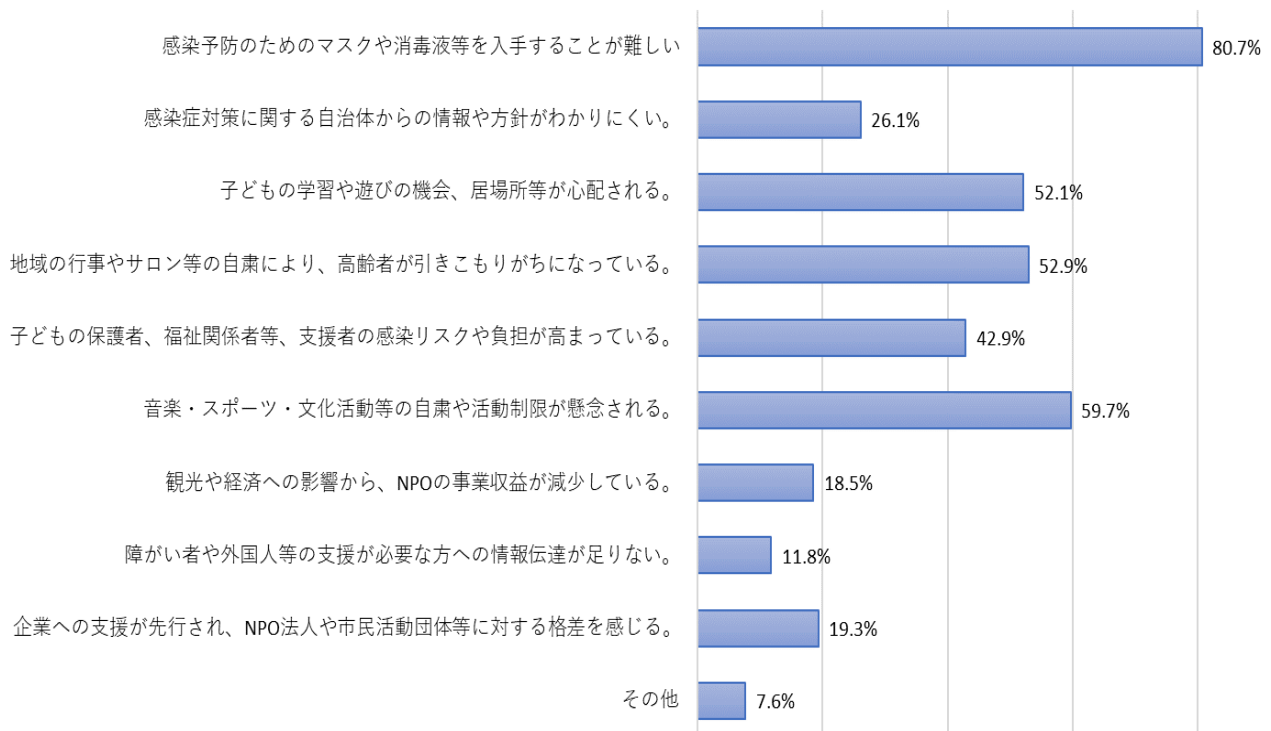
【その他回答】

- ☐ 売り上げの目処が全く立たず借り入れの実行にも不安を感じる。
- ☐ 学校は感染防止のため休みになっても、福祉施設では最大限受け入れと言われる。その矛盾を現場で両立させることが難しい。事業が止まった時の収入源が心配。
- ☐ 収入のほとんどをイベント等の事業収入に頼っているため、活動自粛により収入が確保できない。企画のめどがたたない。
- ☐ 収入が大幅に減少している。これからも期待できない。活動の実施のメドがたたない。
- ☐ 助成等との関連はないものの2月～6月まで事業を中止するため、収入減に伴う事業展開の変更がある。
- ☐ 地域の活動に幼稚園、小学校、中学校及びその保護者の参加が得られない。
- ☐ おうちサロンを自粛している;理事会や総会等の必要な会議が開催できない。
- ☐ 利用される対象さんの方までマスクが手に入らない状況。
- ☐ 予定しているイベントが開催できるか否か先が見えない。
- ☐ 事業の見通しをたてにくい。
- ☐ スタッフに在宅で仕事をしてもらう環境がまだ十分に整っていない、これからの課題だ;どのように感染症対策すればよいのかわからない、今後のリスクや見通しが想定できない。

(4)貴団体の周りで発生している社会問題や地域課題を教えてください。(複数回答可)

有効回答数 n= 119

回答	回答数	割合
感染予防のためのマスクや消毒液等を入手することが難しい	96	80.7%
感染症対策に関する自治体からの情報や方針がわかりにくい。	31	26.1%
子どもの学習や遊びの機会、居場所等が心配される。	62	52.1%
地域の行事やサロン等の自粛により、高齢者が引きこもりがちになっている。	63	52.9%
子どもの保護者、福祉関係者等、支援者の感染リスクや負担が高まっている。	51	42.9%
音楽・スポーツ・文化活動等の自粛や活動制限が懸念される。	71	59.7%
観光や経済への影響から、NPOの事業収益が減少している。	22	18.5%
障がい者や外国人等の支援が必要な方への情報伝達が足りない。	14	11.8%
企業への支援が先行され、NPO法人や市民活動団体等に対する格差を感じる。	23	19.3%
その他	9	7.6%



最も回答が多かったのは「**感染予防のためのマスクや消毒液等を入手することが難しい**」で **80.7%**（96件）となっている。次いで、「音楽・スポーツ・文化活動等の自粛や活動制限が懸念される」が 59.7%（71件）、「地域の行事やサロン等の自粛により、高齢者が引きこもりがちになっている」が 52.9%（63件）、「子供の学習や遊びの機会、居場所等が心配される」が 52.1%（62件）を占め、全体の半数以上の回答者が選択しており、**身の回りの地域においても、衛生用品の確保が困難であることや活動への制限、子ども・高齢者への影響が懸念されている**ことが伺える。

その他の回答については、「**子ども・障害者・若者が心配**」「**対策や支援に関する情報がわからない**」といった意見が寄せられた。

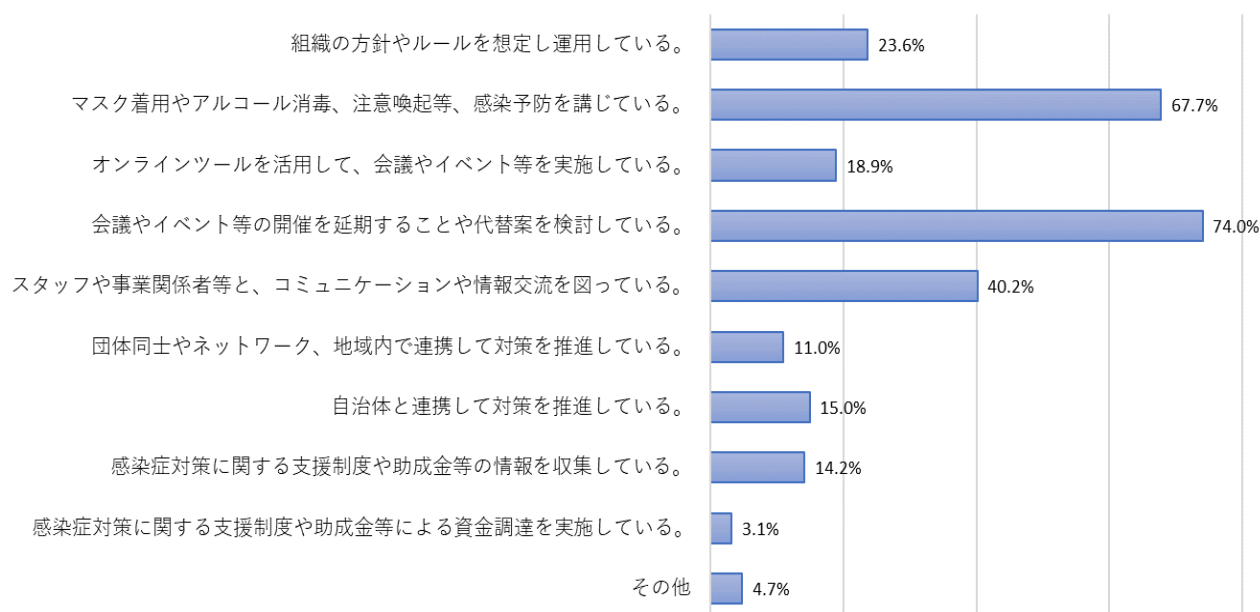
【その他回答】

- ☐ 地域学習グループが、自己判断ができてない。活動の自粛要請をしているが、自粛要請と禁止の違いをわかっていない。
- ☐ セミナー・研修が滞り、質の低下が懸念される。
- ☐ 検査機関が地域にない。どこの病院へ行けばよいかよくわからない。
- ☐ 収入が大幅に減少しているため生活が成り立たない
- ☐ 子どものあそび場や居場所がない。外遊びができないので子どもの体力が落ちている。親子や兄弟など家庭内のケンカが増えている。家の中の雰囲気がギスギスしている。中学生の子どもが昼夜逆転の生活をしている。といった声を聞いている。
- ☐ 今のところ特に影響はない。
- ☐ 聴覚障害者に情報が提供されていない。
- ☐ NPO に対する支援や、今後の運営のあり方に関し、行政からの情報や指針が明確に示されていない。
- ☐ 若者が生活を支えるためのアルバイトがなく、これから先どうしていけばよいか頭をかかえている。

(5) 組織運営や事業活動でどのような対策や工夫を行っていますか？（複数回答可）

有効回答数 n= 127

回答	回答数	割合
組織の方針やルールを想定し運用している。	30	23.6%
マスク着用やアルコール消毒、注意喚起等、感染予防を講じている。	86	67.7%
オンラインツールを活用して、会議やイベント等を実施している。	24	18.9%
会議やイベント等の開催を延期することや代替案を検討している。	94	74.0%
スタッフや事業関係者等と、コミュニケーションや情報交流を図っている。	51	40.2%
団体同士やネットワーク、地域内で連携して対策を推進している。	14	11.0%
自治体と連携して対策を推進している。	19	15.0%
感染症対策に関する支援制度や助成金等の情報を収集している。	18	14.2%
感染症対策に関する支援制度や助成金等による資金調達を実施している。	4	3.1%
その他	6	4.7%



最も回答が多かったのは「**会議やイベント等の開催を延期することや代替案を検討している**」で**74.0%**(94 件)となっている。次いで、「マスク着用やアルコール消毒、注意喚起等、感染予防を講じている」が**67.7%** (86 件) を占め、全体の半数以上の回答者が選択しており、**緊急的・基本的な対応から取り組み始めていることが伺えるが、その他のほとんど項目は回答率が低く、十分な対策や工夫を実施できていないことがわかる。**

その他の回答については、「**リスク対応**」に関連する意見が多く、行政と連携する取組もあった。

【その他回答】

- ノベルティーの作成の為中国に先払いで立て替えたがイベントの中止によりものが入らずに代金の回収不能！
- 地域の子どもや大人、保護者から聞く声から、冒険あそび場のイベントを実施したいが、感染拡大防止の観点を考えると実施に踏み切れない。屋外でのあそびは、3密にはあたらないと考えており、個人が家族や友達同士で公園に行って遊ぶのには大きな問題はないと考えている。冒険あそび場も危険性と言うと公園遊びと変わらないが、主催者がいるという点で異なる。普段公園には遊びに行かないが、冒険あそび場には行くという子もあり、それが意味することは、遊びや運動やストレス発散の機会を提供できるという視点とともに、イベントを実施するからこそ外に出てきて人と接する機会をもつ人を作るということでもある。リスクと活動実施による価値とのバランスが難しい。
- 三原市からの情報を回覧している。
- 活動中止期間は、事業計画を立て直し、検討できる期間ととらえ、7月以降の実施計画に集中して作業、ミーティングをおこなっている。
- 活動やイベントを極力自粛している。
- 今後状況によっては、会議やイベントの開催延期、中止を検討する。

（６）その他、今後地域で必要なこと、行政や他団体と連携したいこと、必要な

サポート、地域社会へのメッセージ等あれば、ご意見をお書きください。

寄せられた意見について、「団体・法人の経営」「事業・活動の運営」「地域・住民」「その他・メッセージ」に分類し、更に「困っていること、不安・心配なこと」「必要なサポート・対応」「やっていること、できること」を整理した。

① 団体・法人の経営

<困っていること、不安・心配なこと>

【経営の責任・方針】

- ☐ 当会は無報酬のスタッフ、ボランティアでの運営であり、法人だからと言って企業並みの対応要求は、責任負担能力を遥かに上回るもので、メンバーの個人的生活を守るためには活動を停止せざるを得ない状況です。
- ☐ 4月、5月あたりから経済の低迷が予想され、不安（収入面、精神面）です。仕事の仕方、活動内容、生活スタイルなど大きな転換が必要だと思います。既成概念を捨てて何かを始めることも必要かと…

【収入】

- ☐ イベントを急ぎょ中止にしたため、それまでにかかった費用をどのように補填するか？

【雇用・職場環境】

- ☐ 雇用の維持は難しい状態に陥っています。
- ☐ 最前線で動かなくてはならない介護士、ヘルパーに対しての援助の具体化を模索しています。
- ☐ 環境づくりが難しい。ストレス、気分転換がしにくく高齢者、職員の対応が大変です。
- ☐ 福祉サービス事業を行っている。通所職員で15名。施設内で感染者が出るかと毎日心配している。（検温、換気、消毒等、気を付けてはいるが）

【総会・理事会】

- ☐ 総会や理事会が開けるかが心配です。

<必要なサポート・対応>

【仕組み】

- ☐ 3月末で事業年度末の法人も多いかと思いますが、所管行政には年度報告期限の延長などの対応をお願いしたいです。
- ☐ 総会を開かない場合、広島県への報告の期限を延長して頂くなど対応してほしい

- ☐ NPO法人は、一般の企業と同じように扱われていない。イベント等の中止においても要請だけでなく最低限の保障、支援対策が望まれる。
- ☐ <提案>地域活動団体専門「新型コロナウイルス相談窓口」を開設し行政（保健所等）と連携をする。又、既設されている窓口に人材を派遣する。

【資金】

- ☐ 運営資金がとにかく心配です。政府の中小企業対象の助成金等の対策がNPOも対象になるのかどうか分からずにいます。
- ☐ 日常の活動で得られていた収入が入らないため、必要経費を捻出することが難しくなっている。元々小さな規模のNPO法人なので少額でも打撃となる。金銭的なサポートが欲しい。
- ☐ 地域活動実施の為の財政支援をお願いしたい。
- ☐ 活動を展開するにあたり、財政支援をお願いしたい。
- ☐ 予定しているイベントが中止になれば、事業収入が減少し、NPO活動に支障を来すので、自治体、行政の支援をお願いしたい。

【情報・助言】

- ☐ コロナ感染対策方法の共有や物資のお願いとWeb会議への資金援助。
- ☐ NPO法人でも様々な助成や支給金などがもらえるならその情報が欲しい。
- ☐ 情報はこのニュースレターを含め、紙媒体を中心に発信してほしいと思います。すべてのNPO法人がネット環境にはないことを知ってほしいと願っています。
- ☐ 本会は行政から2か所の公衆トイレの清掃業務を受託しており、利用者や清掃スタッフの感染防止のためのマニュアルを作成し、実施しているが、マスクや消毒薬剤等の入手が困難でまた高額になっており収益を圧迫しているが、行政からは何の指導も助言も支援も無い。また、スタッフの作業量の増加も人件費の増加になっているが、これについても行政からは何のアクションも無い。
- ☐ 総会を书面議決にしようか迷っているがその方法を知りたい。
- ☐ 国や自治体からの(経済的)緊急措置が多く、どんどん情報が更新されるので何を選択していいのか分かりにくい。助言してもらえたら嬉しい。
- ☐ 新型コロナウイルスの全貌はわかっていないと思いますが、現在言われている予防法について何故そうしたらよいのかという理由付けを知りたい。
- ☐ 本クラブは、三次市から施設の指定管理の受託を受け、その施設をクラブハウスとしても利用している。コロナに関する今日の状況の中で、三次市の方針により施設の利用禁止の状況にある。本クラブがこれまでの地域の運動・スポーツの推進に果たしてきた役割を考えれば、特別公的支援等があってもいいのではないかと考える。

【衛生用品】

- ☐ マスクやアルコール消毒が購入できないので、代替のものを教えてください。
- ☐ スタッフや事業関係者にマスクの配布。

<やっていること、できること>

【立て直し・判断】

- ☐ 予期していなかった事態が起きると混乱を招きますが、今の状況で団体に必要なことは時期を待つ

姿勢とそれを乗り越える代替策だと考えています。当団体は、まだ活動年数が浅いため、いろいろな面で準備不足だったのですが、今回のことは団体の運営という意味で良い勉強になっています。活動開始の時期を見据え、じっくりと事業計画を立て直したいと思います。

- ☐ 何故、いま、活動自粛、外出自粛が叫ばれているのかを理解して説明する事、理解した上でどう行動するのかを自己決定しなければならないとおもう。

【協力関係】

- ☐ 三次おやこ劇場は、人形劇や音楽会などの舞台鑑賞を自然の中で、おもいきり異年齢で、子どもも大人も一緒になって遊ぶことを大切にしています。子どもが少なくなった今、自分たちだけで運営は大変です。地域や行政、他団体と一緒にこれからのことをやっていけたら心強いと感じています。
- ☐ もう少しNPO法人の横のつながりが欲しい。
- ☐ 行政は協力的に対応してくれる。

② 事業・活動の運営

<困っていること、不安・心配なこと>

【判断・見通し】

- ☐ 何もかも中止していますが、収束時期が見えないのが不安である。会合、会議、イベント etc がありますが、どのような状態になれば再開しても良いのか判断に困っている。
- ☐ 高齢者サロンがずっと開けず困っています。
- ☐ 感染の恐れがなくなるまで、活動は中止せざるを得ない。
- ☐ 街づくりのイベントができない。
- ☐ いつになったら収束するのか見通しがつかない。年度末に事業が集中するのではないかと心配。早くワクチンを開発してほしい。
- ☐ 今、なにができるのか。わたしたちはなにができるのか、わからない状態で立ち止まっています。アナログな地域のつながりをつなぐ仕事ですので、どうしたらよいのか！ただ嵐が過ぎるのをじっと待つだけしかできないのか、それでよいのか、道が見えません。

【活動場所】

- ☐ 事業が行えないことで生じる収益の減少が問題です。公共の施設を使用している為、使用不可になると活動そのものが行えない状態になります。
- ☐ 放課後児童クラブ、PTC活動、児童館活動が中止になり、クラブの出番がない。

【地域・住民への影響】

- ☐ 今般のコロナウイルス感染症については、感染リスクのため自治会等の活動は行っていないのが現状です。本来実施すべき防災訓練等の活動も見合わせています。感染症の終息が長引けば自治会活動に影響が大きいと心配しています。
- ☐ 今クラブとして懸念する課題は、クラブとしての一切の活動が停止しているわけで①地域住民の運動・スポーツの日常的習慣化の実績がくずれていくこと、②会員会費の集金の猶予等により収入減

になり、運営の困窮してくることが予想されることなどである。

- 私たちは、ボランティアで活動を行っているので、行事を中止したからといって特に困ることはありませんが、行事を楽しみにしていた子どもたちには大きなストレスになっているようです。早く通常の活動ができるようになることを願うばかりです。
- 一般的に不特定の人が集まらない、換気等に気を付けマスクなどをしたの行事であればと思いますが、現在の雰囲気は、全ての行事を中止にすることが良い、という風潮があるように思います。これで良いのかと思います。コロナ鬱も出るのでは仁かと思うのですが…

<必要なサポート・対応>

【情報・助言】

- 市の行事開催と合せて町内行事を実施するため早めの情報がほしい。
- 今は高齢者が半数以上の農村地域の普通の生活を守るには、すべてのイベントを中止するのがよいとの判断に至っています。そのほかにできることがあれば、ぜひアドバイスいただけると嬉しいです。事例などが集まれば、つづいて発信お願いいたします！
- 毎日開設型サロンを特徴にしているが3月からは月曜日午前中2時間だけ開けて、それ以外は全て閉鎖中である。今迄の来訪者は殆どが高齢者である中、高齢者のサロンへ行く楽しみを奪った格好になっていることを主催者として心苦しく思っている。具体的にこうすればOKと言った行政側の明確な指示が欲しい。
- 収束が見通せない状況であり、支援活動の長期停滞が懸念される。特にサロン活動の中止に伴う高齢者の機能低下を防ぐための代替策をどうするかが今後の課題と感じている。
- 高齢者施設ですので、もし感染が出た場合の具体的な対応を心配しています。

【協力関係】

- マスク制作を広島市からの依頼で作業所が作るといった取り組みが進められていますが、そのような依頼が今後も行政からあるとありがたいです。
- 会社の立て直しに久々に大型受注したが、コロナで真逆に死活問題に！政策金融も返す目処がないのに貸さない！じゃあ政府が大規模イベントを発注してくれればそれを受注して返済にあたる事が出来る！

【衛生用品】

- 消毒用アルコールなどは、主催者側だけが準備するのではなく、会場（貸主）も準備して欲しい。

<やっていること、できること、提案>

【方針・対応】

- 今後は、学校林の整備、保全に努める方針。
- 今のところ「広島に一番近い本物の田舎」狩留家には、組織で集会を開かなければ集うこと、タイミングはないので割に安心です。ミーティングは全てキャンセル。
- 室内活動はありません。子ども達や保護者のストレス解消のため、森・里・川・海の活動は有効です。付かず離れずの活動を心がけています。なおかつ、地域貢献にもなりますよ。

- 子どもの外遊びや運動が今ほど必要なときはないと考えている。その機会を必ずしもイベント的に冒険あそび場により実施しないといけないとは思わない。広く社会一般で、「子どもの外遊びって大事だね」という意識が広まり、子どもの声が聞こえることがよい地域とされ、子どものやることをあれこれ禁止せず微笑ましく見守るようになり、子どもが自由に遊べる場所が各地に小さくたくさんある社会になってほしい。どの地域にも、家の近くにそんなあそび場があれば、広域での移動をせずとも、外遊びができ、ウイルスの長距離移動を助長しない。外に出られるところがあるだけでも、ストレスを溜める子どもや家庭も一定数少なくなる。
- 不安を皆が抱えて気持ちが落ち込んでいくばかりです。だからこそ、音楽、笑いなど、心をなぐさめ温める発信をつとめたり、日本国内だけでなく、世界の状況に目を向けて大きな視点で現状をとらえ助け合う必要があると思います。
- 平時からの取組が必要。(実際の事態を想定した訓練など)
- 統括的な対応は必要であるが、部門、業務別の対応策が必要である。例えば、分譲マンションとしては、コロナウイルス対策は何をすべきか等である。

【注意喚起・予防策】

- 障害施設として、コロナに関して職員に関しては作業時間において部屋の喚起を促す様にしている。しかし、利用者の方の中にはプライベートの時間に車で色々と行動されている方に関しては、個別にコロナに関する情報や理解をして行動する様に対応していますが、仕事以外の講堂が現在解らないので、少し不安を感じている所です。(広島市の方へ休日の時、結構外出されている)
- 感染予防のため、会議や集会等にはマスク着用を推奨している。

【協力関係】

- アレルギー児にも対応できる非常食を、たくさんではないですが、確保しているので、必要とされている方がいらっしゃいましたら提供致します。
- 3つの密に当てはまらない野外で、思いっきり体を動かせるフォールドを持ち合わせています。そのようなことでなにか協力できることがあればお声掛けください。
- 防災士としては、新型コロナウイルスも災害の一つとして捉えて会員に行政とは別の感染症対策資料を配布し、各々が自覚をもって予防行動することを啓発しています。毎月一回勉強会を開催し、各々の判断に依り行っています。

③ 地域・住民

<困っていること、不安・心配なこと>

【子ども】

- 当団体は子どものあそびにフォーカスして活動している。コロナウイルス流行より、子どもたちの日々の様子は両極端にある。外に出て遊んでいる子どもの姿も見るが、全く外に出なくなった子の話も聞いている。ストレスが溜まりやすいという状況もあるようで、子どものストレス、親のストレス双方が我慢の限界という声をよく聞く。ある程度自分で外遊びに出かけることができれば、親子ともにストレスが軽減できたり発散しやすかったりすると思われるが、どここの家庭でもそうでき

るわけではない。「イベントを実施しなくても遊んだりストレス発散したりは家庭でどうにかするだろう」と楽観的に見る声もあるが、それで済ませられるのは田舎や感染報告の少ない地域だけであろう。

- 否応なしに人とのつながりが切り離されてしまい、子どもやその家族の心理状態が気にかかります。
- 子どもたちに関わる事業のため事業が行えない事によるストレスの増加、不安の増大が心配です。
- 学校が始まることにより、こどもがウィルスを運んでしまうことになる予想され、大人、とくに年配の方との接触が敬遠され、溝が生まれることになるでしょう。それによってこどもたちの活動、行動が制限されたり、また社会的に攻撃されたりするのではないかと心配しています。

【高齢者】

- 高齢者の方の情報収集が難しい（インターネットが使えないため）

【衛生用品・食料品】

- アルコール等の配備が行政から来ておらず、苦慮している。
- 明日の事もわからない現状で、今行っている感染予防といえば手洗い、うがい、マスク着用ぐらい。マスクは、在庫わずかの中で使い捨てマスクを洗って使用している。マスクを買いたくても打っていません。消毒液もありません。どうすればいいのか、尋ねたい。
- 東京からの影響か、食品類が店頭から減りつつあります。
- 定期的な購入でローリングストック備蓄を推奨して参りましたが、突発的に買いだめをする人の多さに日頃の備えがない現状を憂えています。
- たくさん買いに行けない人が、頑張って買いに出かけても買えない状況になってきている事に危機感があります。

【判断・情報】

- 呉市は感染の影響は出てはいませんが、外出を控えています。当面の活動はできないし、予定されていた会議や活動も延期となりました。十分注意することは必要だと思いますが、地域で感染者等が出ていないところは、もう少し自粛を緩めてもいいのか、又、完全に必要以外の外出は禁止状態を行った方がいいのか、判断つきにくい所です。
- ウイルス感染予防について、地域団体等と情報共有を図る手法を見出せていない。高齢者・若年層・子育て世代は、それぞれ入手する情報源が異なっているため、同じ方向を向いた行動がとれていないのが実情である。
- 自治体の出す方針、指針が一般人には分かりにくい文章になっている。市民も、自治体も、施設も責任逃れのためになのか、判断基準を他人に押し付ける風潮がある。

＜必要なサポート・対応＞

【情報・助言】

- ウイルスの検査回数、発症件数、完治件数、死者数等、タイムリーに発信頂きたい。
- 他の地域は、その対策をどのようにしているのかを情報として知りたい。

【行政の方針】

- 広島市は、首都圏都市のようにより積極的に情報公開をし、独自の展望、予防対応方針を明確にしてほしい

- 政府・自治体の感染拡大の予防策を消費者・生活者・学生などに自粛を求めているのは、生産者や企業などに営業停止などを求めた場合の補償の大きさを危惧していると思えない。パンデミックの拡大防止には国を挙げての対応には勇気と決断が必要である。

【小規模自治体】

- 地域振興のための事業がほとんどなので、延期や中止によってますます地方というか、過疎の町の活気が失われるので、行政など、都市部だけではなく、小さな町にも手厚いサポートをお願いしたい。

【災害への備え】

- 広島市には災害による集団感染の恐れがあることにもう少し着目してもらいたい。豪雨災害があったためコロナ対策もしつつ災害時の備えも注意喚起してもらいたい。

<やっていること、できること>

【意識・行動】

- 今回のコロナウイルス流行から何かを活かすとするならば、子どもの「あそび」に対する、大人一人一人の意識の変革を訴えていきたい。
- まず感染拡大を防ぐことだと思います。まず家から出ない。自分がうつされるという発想ではなく、自分がもう感染しているという感覚で、人にうつさない為にはどういう行動をとるべきかと考えるべきだと思います。
- 一部緊急事態宣言が出されたが、今後の県・市の方針についてしっかり注視したい。
 - 自治協の活動は見直しとなろう。
 - 住民としては出来るだけ3密を避ける様に行動することが必要と思う。併せ念入りの手洗いの励行。

④ その他・メッセージ

- NPO も公共サービスの一翼を担っていることを忘れないで欲しい。
- H30.7 月西日本豪雨を受け、現在避難所の受け入れ体制を整えている最中であり、万が一、当地域でコロナウイルス感染が発生すると、大変な事となる。これを防ぐためにはそれぞれ個人の対応次第で大きく変わってくる。自然災害と同じで自分の命を守ることが他人の命を守るに繋がる！！を念頭に置き、行動しよう！
- 被爆地広島の 75 周年の意味がかき消されないように皆さまと今できる形で広島からのメッセージを発信していきたいです。
- 短期的・人の命を守ることに人、モノ、カネ、情報を集中。中期的・人間の歴史は、災害、感染症、戦争の歴史、にも拘らず、実際に起きてみないと損害は理解しにくい。
- ニュース等の情報を参考にしながら予防して、これ以上広がらないことを願います。
- 恐れず、やるべきことをやって終息の日に「無事でよかった♡」
- お互いに頑張りましょう！ありがとうございます♡

- ☐ コロナの特効薬が早く出ますように！祈る気持ちです。
- ☐ 一日も早い終息を望むのみである。
- ☐ まずは NPO センターさんがこのように動いてくださることに感謝しています。

以上

謝 辞

本調査について、感染症対応及び年度末・年度始めのご多忙の時期にも関わらず、ご協力いただいた広島県内の NPO や関係者の皆様に感謝申し上げます。